

第6回 草津市総合計画策定委員会 幹事会	
開催日	令和元年7月19日(金)

(1) 第5次草津市総合計画の総括評価について

主な意見等
<p>・平成22年度から30年度にかけて、「総合的に住みやすいまち(以下「住みやすさ」)」と「草津市民であることに誇りや愛着を持っている(以下「誇りや愛着」)」の指標の差が広がっているが、要因は何か。</p> <p>⇒「住みやすさ」の指標は、回答いただいた市民が他市からの転入歴や居住年数に関わらず75%前後の方に「そう思う」「ややそう思う」と回答いただいています。一方、「誇りや愛着」の指標では、「そう思う」「ややそう思う」の割合は、他市からの転入歴がない方が高く、また、居住年数と比例して高くなっています。このことから、「住みやすさ」は転入からすぐに実感いただける一方、「誇りや愛着」を感じていただくには時間がかかるため、両指標の差が広がっているものと考えられます。</p> <p>・良い面だけでなく、課題があることにも触れて記載する必要はないか。</p> <p>⇒修正しました。</p> <p>・人口フレームに対する記載は必要ないか。</p> <p>⇒修正しました。</p> <p>・グラフの縦軸について、最小値が40%になっており「草津市民であることに誇りや愛着を持っている」市民の割合が少なく見えるため、最小値を0%にしてはどうか。</p> <p>⇒最小値を0%にすると市民の割合が上昇していることが分かりにくいいため、最小値40%のまま表記します。</p> <p>・「平成30年度 ベンチマークの目標達成度状況」について、達成度が100%を超えた基本方針数しか記載されていないため、100%未満の方針数も記載してはどうか。</p> <p>⇒修正しました。</p> <p>・待機児童数は目標達成度を%で見ることができないものではなく、「達成」「未達成」のどちらかだけではないか。</p> <p>⇒目標達成度を算出するための計算式を追記しました。</p>

(2) 第6次草津市総合計画 基本構想前段部分(案)について

主な意見等

・「1 (1) 総合計画の概要」の内容はここで触れるべき内容か。

⇒削除しました。

・「まちづくりの歩み」で第5次総合計画のまとめとして“ふるさと草津の心(シビック・プライド)”が挙げられているが、基本構想内ではあまり使われていない言葉であり、他の表現を使ったほうが良いのではないか。

⇒修正しました。

・「北中西・栄町地区再開発ビル」は令和2年完成予定である。また、(仮称)市民総合交流センター開設には(予定)がついているが記載方法は揃える必要があるのではないか。

⇒「北中西・栄町地区再開発ビル」は令和2年完成予定に修正します。また、未完了の事業には、(予定)を付けします。

・「3 人口の見通し」のところが記述とグラフが並び単調となっているので、メリハリをつけて記載いただきたい。

⇒小見出しを追記しました。

・「4 社会情勢の変化への対応」の「草津市の状況」について、次回の協議事項である総括評価の「将来の課題」を固めてからでないと、協議できないのではないか。

⇒「4 社会情勢の変化への対応」は、委員会のみ付議することとします。また、今回の8月7日の特別委員会、8月21日の審議会には付議せず、次回、付議します。

(3) 第6次草津市総合計画の体系（案）について

主な意見等

- ・教育振興計画を策定する際に、総合計画との整合性を図る必要があることから、教育という分野名について再度、教育委員会に検討いただきたい。
- ・「健幸」は分野横断的に取り組む性質であることから、例えば将来ビジョンなど、より大きな枠組みの中で記載いただく方が望ましい。
- ・「若者」を分野として記載することは適切ではないと考えるが、将来的な重要性の高まりが予想されるテーマであるため、いずれかの分野に位置づけることは必要である。
- ・「協働・コミュニティ」を「コミュニティ」に修正することだが、第5次総計の分野名は、「市民自治・コミュニティ」だったので、「市民自治」が名称から消えるが問題はないか。

⇒コミュニティが大枠であり、市民自治はコミュニティを育成・自立させることにより推進していくものになるので、分野としてはコミュニティで問題ない。